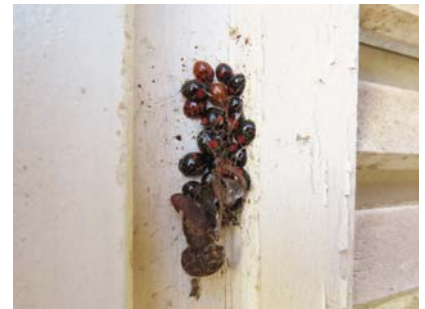


# 自然の家だより

平成27年  
2月12日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: http://www.mirai.ne.jp/gishizen/

暦では「立春」が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。  
先日、百葉箱の隅で冬越しをする「ナミテントウ」（テントウムシの仲間）の成虫を見つけました（右の写真）。重なり合うようにたくさん集まって、暖かい春が来るのをじっと待っています。  
ほかの虫たちは、どのように冬越しをしているのでしょうか。  
今回は、自然の家周辺で見られる虫たちの冬越しのしかたについて紹介します。



冬越しをするナミテントウ

## サナギで冬越し



ナミアゲハのサナギ  
・ミカンの木の仲間で見つけました。

## 幼虫で冬越し



オナガサナエのヤゴ  
・小川の底に溜まった落ち葉の裏で見つけました。

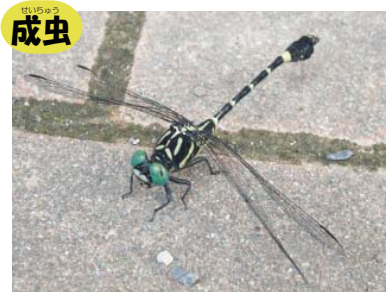
## 卵で冬越し



ハラビロカマキリの卵（卵のう）  
・木の枝や建物の壁で見つけました。



・4月頃から10月頃によく見られます。



・5月頃から9月頃によく見られます。



・9月頃から11月頃によく見られます。

虫たち冬越しのしかたは、卵、幼虫、サナギ、成虫とさまざまです。  
みなさんの学校や家の周りでも、冬越しをする虫たちをぜひ見つけてみてください。

【先月号の答え】 個体差はありますが、多くの木は赤い線より上の方に実がたくさんついています。